

平成26年度東京通信病院「公開講座」アンケート集計結果

開催日時:平成26年7月26日(土)14:00～15:30

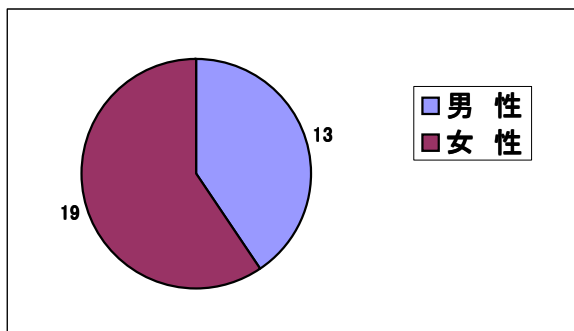
開催場所:管理棟5階 小講堂

テーマ:肝臓がん

開催回数:第4回目

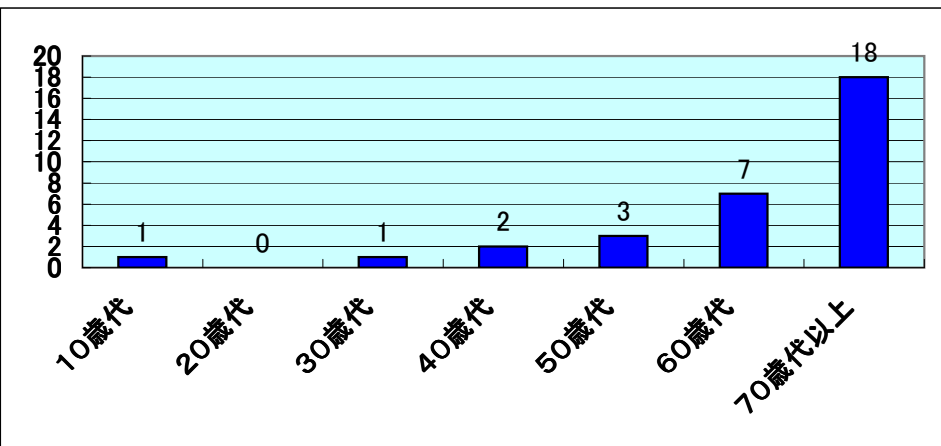
Q1:あなたの性別は

男 性	13
女 性	19
合 計	32



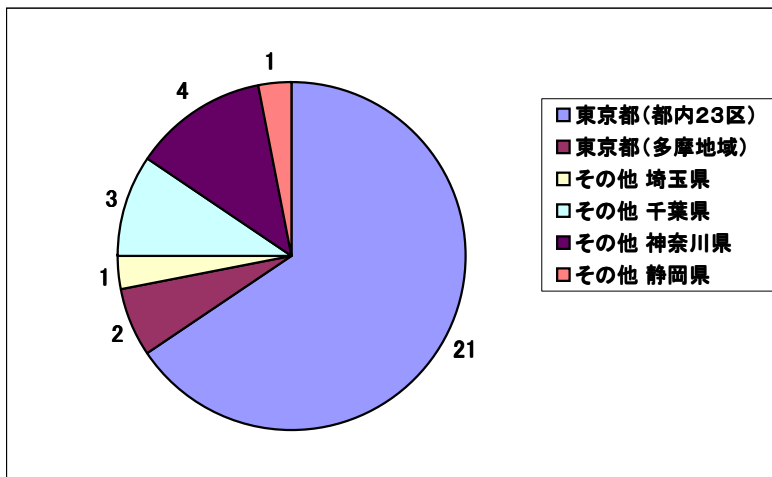
Q2:あなたの年齢層は

10歳代	1
20歳代	0
30歳代	1
40歳代	2
50歳代	3
60歳代	7
70歳代以上	18
合 計	32



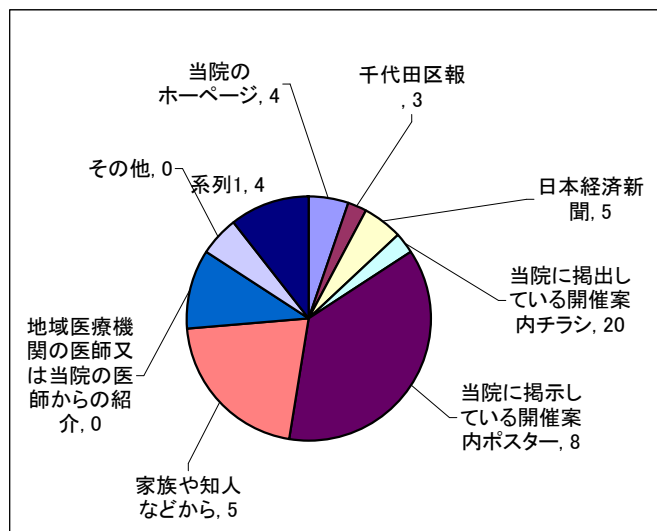
Q3:あなたのお住まいは

東京都(都内23区)		21
東京都(多摩地域)		2
その他	埼玉県	1
	千葉県	3
	神奈川県	4
	静岡県	1
合 計		32



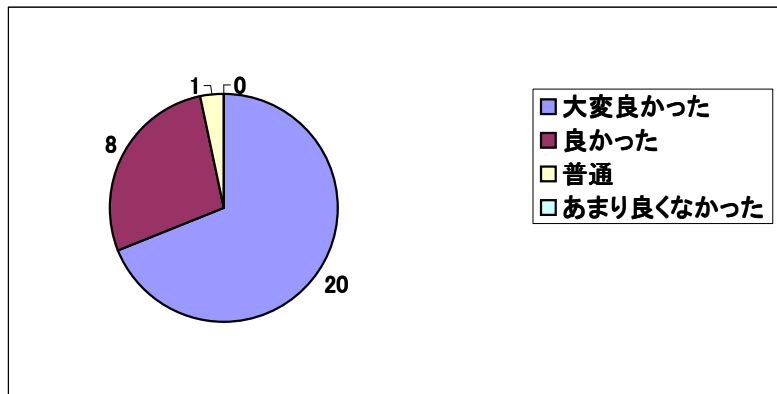
Q4: 今回の「公開講座」は開催されることは何で知りましたか(複数回答可能)

当院のホームページ	2
千代田区報	1
地域医療機関に掲示している開催案内チラシ等	2
日本経済新聞	1
当院に掲出している開催案内チラシ	14
当院に掲示している開催案内ポスター	8
家族や知人などから	4
地域医療機関の医師又は当院の医師からの紹介	2
その他	4
合 計	38



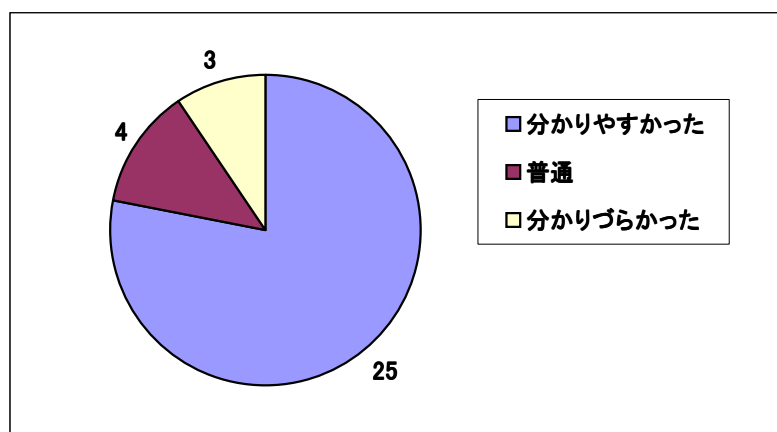
Q5: 今回の「公開講座」はいかがでしたか

大変良かった	20
良かった	8
普通	1
あまり良くなかった	0
合 計	29



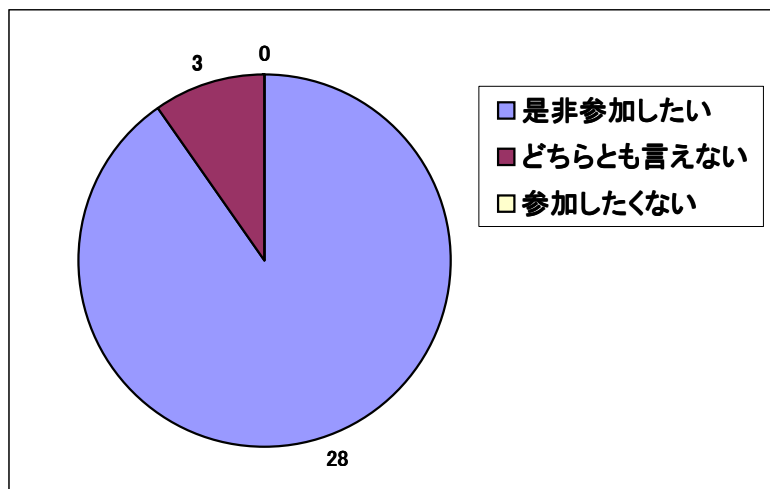
Q6: 「公開講座」の内容はわかりやすい内容でしたか

分かりやすかった	25
普通	4
分かりづらかった	3
合 計	32



Q7: またこのような「公開講座」に参加したいと思いますか

是非参加したい	28
どちらとも言えない	3
参加したくない	0
合 計	31

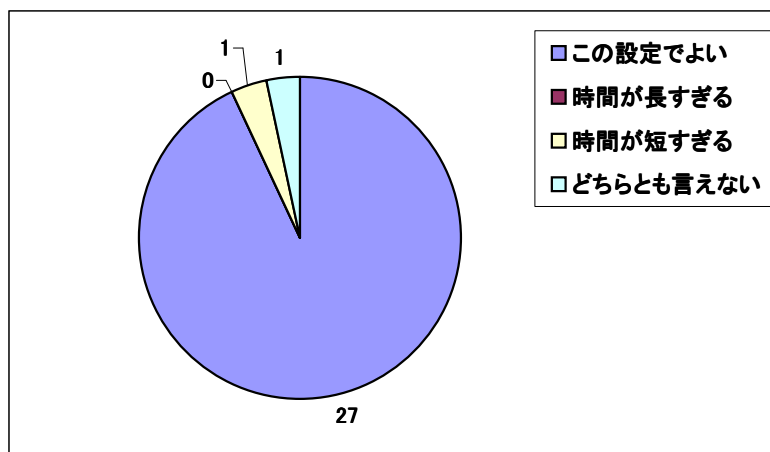


Q8: ご希望の講座内容がありましたらご記入ください

・心臓のことや高血圧のこと。・肺癌・呼吸器内科、外科・腰痛、膝関節炎などの最前線の治療・肝癌で今後期待される新治療法・認知症の早期発見から治療法・神経内科、認知症・膵臓・造影剤の治療とアレルギーの関係・膵臓がん、前立腺癌・転移性のがん・話題の手を付けない治療について・肝臓がんにならないために肝炎治療の現状・脊柱管狭窄症肝硬変から肝がんに移行する際の体の変化、どんな状態から始まるか

Q9: 今回の「公開講座」は、土曜日の午後に開催しましたが、時間設定についてどう思いますか

この設定でよい	27
時間が長すぎる	0
時間が短すぎる	1
どちらとも言えない	1
合 計	29



ご希望の開催日

平日の午後	4
平日の夕方	0
休日の午前	2
休日の午後	8
合 計	14

ご希望の時間

1 日	0
平 日	0
1時間～2時間	14
2時間以上	5
合 計	19

Q10:ご意見・ご感想がございましたらお書きください

【感想】

●内容について

- ・3人の先生ともどもわかりやすい説明でありありがとうございました。専門の方から具体的な話を聞く機会がほとんどなくよいチャンスでした。
- ・貴重な土曜日を各専門のDrの皆様の説明をお聞きして、今後も健康の保持に努めなければと思いました。
- ・手元にスライドと同等のプリントがほしい。・スライドの要点を知ろうで配布していただきたい。・画像資料を配布してもらいたい。
- ・無料で聴講でき今後もさまざまな講座を楽しみにしています。ぜひ定期的に開催してほしい。
- ・年2回行っている講演もまた聞きたいです。
- ・写真を使用したスライドに親近感がわき、リラックスして聴講できました。
- ・肝炎→肝硬変→肝癌となる変化がわからない。最近友人が胆管癌で検査入院して1か月で続けて亡くなりました。
- ・奥田先生の話は分かりやすく聞きやすかった。
- ・医学的な言葉が多くて難しい。わかりにくかった。
- ・肝細胞がんのラジオ波治療について具体にとってもわかりやすく説明があったので、治療についてイメージでき入院計画もよく理解できました。
- ・画像診断についてエコー、CT、MRIなどの利点、欠点もわかりやすかった。TACEはいろいろな塞栓物質があることが分かった。
- ・腹腔鏡補助下の肝切除の動画が興味深かった。
- ・素人である私にもわかりやすく、有意義な公開講座でした。ありがとうございました。
- ・部分的にわかりにくかった。もっとゆっくりだとよかった。・早口で困った。メモができない。

●その他

- ・質疑応答時は回答する先生は前に立つかその場で立って答えるほうがいいと思います。質問者も先生もどこを見て話していいかわからないと思うので。